

組番

氏名

/ 10

一次の(1)～(5)の熟語と同じ構成の熟語をあとの一つ選び、に記号を書きましよう。
【全正各一点】

(1) 永久

ウとキ

(2) 軽傷

アとコ

(3) 登山

イとケ

(4) 地震

オとカ

(5) 遠近

エとク

ア 水路 イ 閉店 ウ 変換 エ 異同 オ 市立
 カ 腹痛 キ 比較 ク 難易 ケ 点火 コ 少量

二次の(1)～(5)の熟語の●には「不・無・非・未」のいずれかを、▲には

「的・性・化」のいずれかを入れて、三字熟語を作りましよう。

【各一点】

(1) ●合格

不

(2) ●意識

無

(3) ●公式

非

(4) ▲基本

的

(5) ▲映画

化

中学校二年生 *単元確認テスト* 一学期 ②		自立語①
組番	氏名	
		/
		10

一次の——線部が、自動詞であればア、他動詞であればイと、それぞれ
 ()に記号で書きましょう。 【完答 各一点】

- (1) ①今日も時間通りに掃除を始める。 () イ ()
 ②楽しみにしていた演奏会が始まる。 () ア ()
 (2) ①人は服装によって印象が変わる。 () ア ()
 ②部活動の練習のメニューを変える。 () イ ()

二次の——線部が形容詞であればア、形容動詞であればイと、それぞれ
 ()に記号で書きましょう。 【各一点】

- (1) 文化祭の準備で忙しい。 () ア ()
 (2) 私は歴史小説が好きです。 () イ ()
 (3) 彼の態度は立派だ。 () イ ()

三次の——線部の言葉が修飾している文節を抜き出して、()に
 書きましょう。 【各一点】

- (1) いかなる状況にも対応できるように備える。 () 状況にも ()
 (2) 道に迷って泣いている子供の手をそっと握った。 () 握った ()
 (3) かなり後ろを歩いても口笛は聞こえた。 () 後ろを ()

四次の()に当てはまる、適切な言葉を後から選んで書きましょう。
 【各一点】

- (1) () もし () 願いがかなうならば、世界中を旅してみたい。
 (2) () たぶん () 明日は大勢の人が集まるだろう。

まるで たとえ もし たぶん

組番	中学校二年生 *単元確認テスト* 一学期 ③	自立語②
氏名		
	/	10

一次の——線部の品詞を後から選び、例に習って、それぞれ記号で答えましょう。

【完答 各一点】

(例) 白^イい 犬^エが ワン^オワン^ア 鳴^アく。

(1) あ^カの 山^エは 高^イい。

(2) 弟^エと いっ^エしょに、 空^エを ぼん^オやり 眺^アめる。

(3) あ^クら、 向^エこうに 虹^エが か^アか^アつて いる^アね。

(4) 今日^エの 教室^エは と^オても 静^ウかだ。

(5) 彼^エは 大^カきな 夢^エを も^アつた。 そ^キして、 旅^ア立^アつた。

(6) あ^クあ、 ふ^エるさとは 寒^イいだろ^ウう。

(7) 春^エには 新^イしい 出^エ会^アいがある^ア。

(8) 決^オして 約^エ束^アは 破^アら^アない。

(9) 仲^エ間^アが いる^エから、 毎^エ日^エの 練^エ習^イも つ^イら^イく^イない。

(10) 英^エ語^ウは 得^キ意^エだ。 し^ウか^ウし、 理^エ科^ウは 苦^ウ手^ウだ。

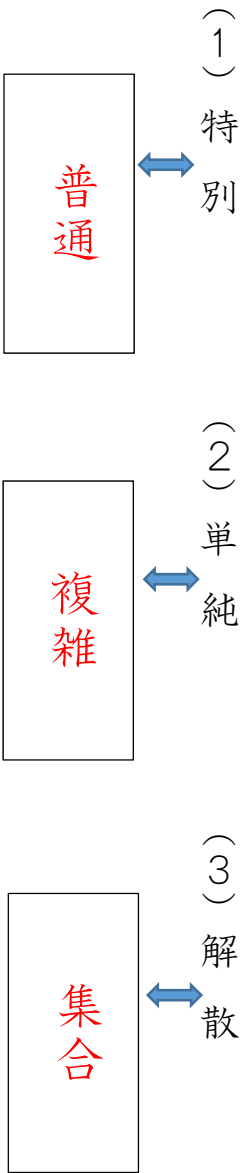
ア 動詞 イ 形容詞 ウ 形容動詞 エ 名詞
 オ 副詞 カ 連体詞 キ 接続詞 ク 感動詞

中学校二年生 *単元確認テスト* 一学期 ④		類義語・対義語・多義語
組番	氏名	
/		10

一 次の(1)～(4)の文章の()に示した類義語から適切な言葉を
 選び、○で囲みましよう。 【各一点】

- (1) 大会で技を(争う・競う)。
- (2) (案内・意外)な結末を迎えた。
- (3) 暑くなったので、シャツの袖を(めくる・まくる)。
- (4) 雨が降ってきたので、傘を(ひらく・あける)。

二 次の(1)～(3)の漢字の対義語を書きましよう。 【各一点】



三 次の(1)～(3)の — 部の言葉と最も近い意味で使われているもの
 を選び、記号を○で囲みましよう。 【各一点】

- (1) 話がはずむ。 (2) めがねをかける。 (3) 切れ味をみる。

ア 息がはずむ。
 イ ボールがはずむ。
 ウ 心がはずむ。

ア 時間をかける。
 イ イボタンをかける。
 ウ かぎをかける。

ア めんどろをみる。
 イ 脈をみる。
 ウ ウ味をみる。